環境を考える③

子どもたちに森林を引き継ごう

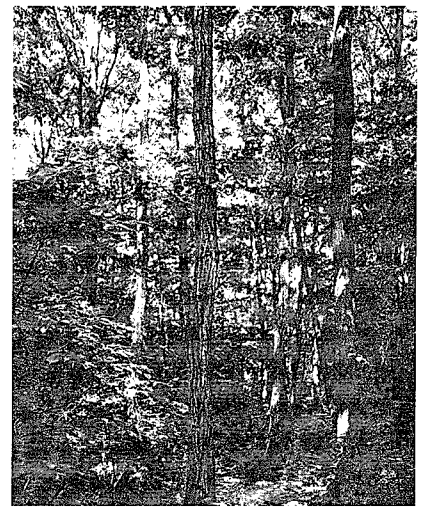
森林を通して新しい文化を発信します

森林は私たちの暮らしと環境を守り、安らぎを与えてくれる掛け替えのないものです。市では、秋葉・金津丘陵の約八百㌶を都市近郊林とし、森林を通した新しい文化を発信していきます。

森林がなくなると世界はどうなる？

広報八月一日号で、森林の役割についてご紹介しましたが、その森林がなくなるとどうなるか考えてみましょう。

①洪水が起き、土壌が流出します



雨が直接地面に降り注ぐため、洪水や土砂崩れが起き、養分のある表土を押し流してしまいます。その結果、植物の育たない不毛の地に変わってしまいます。

②気温が上がります

木や木から作られた紙を燃やしたりすると、空気中の二酸化炭素濃度が上がります。しかも、光合成により空気中の二酸化炭素を吸収してくれる植物がなくなっているので、一層大気中の二酸化炭素が増えていきます。

この結果、温室効果により、地球から宇宙へ逃げる熱が閉じ込められるので、地球の気温が上がり、気候や自然生態系が変わってしまう「地球温暖化」が進みます。

③雨量が減ります

森林は水を循環しています。降った雨の七十㌫以上は樹木が吸収し、その水分はやがて蒸発して雨になります。樹木が切られると、雨は直接川から海へ流れてしまい循環しません。

森林が置かれている状況は

世界中の森林は、急速に減少しています。その原因として、次のようなことが挙げられます。

①酸性雨の被害

石炭や石油などを燃やすと、硫黄酸化物や窒素酸化物が発生します。これらは大気中で酸性物質に変わり、雨や雪とともに地上に降ってきます。そして、土の中に染み込んだ酸性の雨は、木の養分のカルシウムなどを溶かして流してしまい、さらに酸性雨によってできる有害物質が細かい木の根を傷めるといわれています。弱った木は、やがて害虫や病気にやられて枯れてしまいます。

木もれ陽の遊歩道

②熱帯林などの減少

南アメリカなどの熱帯林は、人口の急増などにより切り開かれ、農地や牧場にされたり、燃料や輸出用木材として採り出されたりして、次々とその姿が消えています。一年間に破壊される熱帯林は、約一万七千㌶で本州の半分より広い面積に当たります。

また、タイなどの海岸沿いのマングローブ林は、エビの養殖場に変わり、切り出された木材は紙の材料として輸出されています。そのほか、商業伐採や大規模な山火事により、シベリア北方林も減少しています。

お買物、ご用命は市内で

おいでよ公文　秋の新学期生募集中
大切な二学期だから頑張ってみよう！
学習日　月・木曜日　PM3:00～7:00
教科　算数・数学・国語・英語
対象　幼児、小・中・高校生、社会人
費用　幼・小　6000円
（1教科）　中学生以上　7000円
公文式さつき野教室　指導者　笹井久美子
〒956 新津市北上1-15-5　TEL・FAX 0250-23-3672

あなたの安心を企画する
有限会社 樋口保険企画
TEL (0250) 22－6774
営業事務所　新津市北上3丁目12番6号
ファクシミリ (0250) 24－9110
安心にいがたネットワーク
生命保険＆損害保険➡企画設計

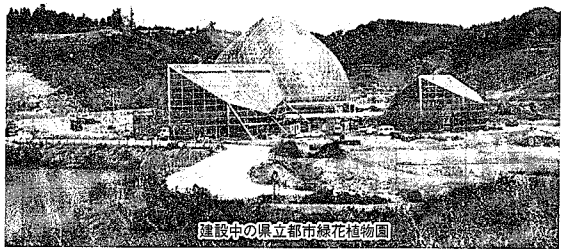
森林文化の創造を

③日本の森林は

日本の森林の多くは、人工的に植林されたものです。人工林は農作物のように、手入れに手間暇がかかります。しかし、外国から安い木材が輸入されていることや、林業作業員の人手不足などにより、十分な手入れが行われていないのが現状です。

森林を守り環境を守ろう

過去を振り返ると、文明は森林のある所から生まれ、その恵みを利用し、森林を切り開いて発展してきました。そして、森林がなくなると、その文明も滅んでいきました。かつて古代文明が栄えた跡が、今は砂漠のような不毛の地に変わっている例は多くあります。



建設中の県立都市緑花植物園

今までの社会は便利さや物質的豊かさ、経済性を追求し、発展してきました。その一方で、環境はどんどん悪化しています。このままでは森林をはじめとした豊かな自然がなくなり、現在の文明が滅んでしまいかねません。この状態を本当の繁栄とはいえないのではないでしょうか。

これからは、大量生産・大量消費の「使い捨て」型ではなく、環境や生態系などの循環に配慮した、持続性のある発展に転換していかなければなりません。

森林を守るのは、山村や森林地域の国だけの役目ではありません。森林から豊かな恵みを得ている世界中の人たちが、協力していく必要があります。

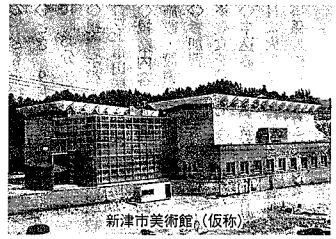
森林を守るために私たちが身近にできる方法は、当たり前のことですが、木や木から作られた製品を無駄に使わないということです。古紙をリサイクルするのはもちろん、割り箸などの使い捨ても考え直してみましょう。また、森林に親しむことも大切です。森林の中で緑に囲まれると心身ともにリフレッシュされ、森林や環境問題などもずっと身近に感じられるようになります。

新津から森林文化を発信

市では、秋葉・金津丘陵約八百㌶を都市近郊林と位置付け、県立都市緑花植物園を核とする生きた植物園づくりを進めています。そして、この森林の植生や昆虫、動物、鳥などの実態研究調査を行い、ここから個性的で魅力的な「森林文化」といえる森林を通した新しい文化の発信を目指しています。

すでにこの森林の中には、延長三十㌔㍍に及ぶ木もれ陽の遊歩道をはじめ、石油の里公園、秋葉公園、さつき山公園、つばき山公園などが整備され、新津市美術館（仮称）や都市緑花植物園、埋蔵文化財センターがもうすぐ姿を現します。

ここでは、誰もが気軽に森林と親しむことができます。森林を歩き、森林の中に入り込み、緑に囲まれることにより、五感全てで生きた森林を感じとってください。そして、人間と森林をはじめとする自然とが共存し、持続性のある発展をするための新しい考え方やライフスタイルを探ってみませんか。市では、こうした場所と機会を提供し、提案していきます。



新津市美術館（仮称）

にいがた森林の仲間の会にご参加を

森林とのふれあいを通じて、自然を大切にする心優しい人々の輪を広げ、子どもや孫たちに緑に囲まれた豊かな自然環境を引き継いでいこうと、にいがた森林の仲間の会（会長小林正吾さん）は活動しています。

森林に興味があり、森林とのふれあいを望んでいる人ならどなたでも入会できます。

◇会費　年額3000円

◇入会申込み・問い合わせ　にいがた森林の仲間の会事務局（市役所企画調整課内、☎24－2111内線335）へ。

お買物、ご用命は市内で

第18回「富士百景の旅」180名様満席に付きメ切りました。　9月4日～5日出発です。

山先店 サンドラッグ 春日 ☎24－5906
貸席 生そば ますだや ☎24－6315
お茶のニイガタ オオサカヤ ☎24－1347
田家店 ふぢ屋 造花店 ☎22－0864
ヤマイチファッション ☎22－3673
旭自動車工業 ☎22－1347
本町4 チューリップ商店 お店紹介
山の家具 ☎22－0667
カメラのサカグチ ☎22－0045
フラワーショップ おやまつ ☎22－0893
鮮魚 貸席 おぐま ☎22－3004
陶器 茶器 伊藤 ☎22－0362